2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31102	キャリアデザインⅠ CareerdesignⅠ	中川直毅	上場企業等四社の人事部長などを経て現在はキャリアセンター長	基礎	1	必修	1前期

科目の概要

学生の皆さんを取り巻く社会環境や雇用環境についての理解を深め、社会・企業から求められる資質、能力、知識について学ぶことで、学生の間はもちろん、社会に出てからも、自立人材でいられるように支援していける内容の講義を進めていきます。併せて、キャリア形成を考えながら、自らの身を護る働く上での必須のワークルール(労働法の基礎的事項)についての知識も学んでいきます。
企業勤務30年以上、長くの間人事部長の要職にあった経験を十分に活かして授業を展開していきます。これらの授業を通じて社会人基礎力及びpisa型学力を高めていくことにより有為な人材を育成する。

学修内容	到達目標
① 自己のキャリア形成の考え方、方向性について、理解する。 ② 働く世界について理解する。 ③ 働いた際に、自己を護っていける知識と方法について理解する	① キャリアを客観的にデザインできる知識とルールを理解できるようになる。 ② 社会人基礎力の概要を理解し、目的意識を持てるようになる。 ③ キャリア形成に際して、働く者を保護する労働法の基礎的事項を理解し、自己防衛できるようになる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自己のキャリアを考えていくための知識、知恵、及び情報を積極的に学んで、調べて自己学修した上で、記述できる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	キャリアを考える際に、固定観念に捉われることなく、多角的視野で考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。
	傾聴力	授業の様々場面において、他者の意見を確認し、更に自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト: 中川直毅 編著『要説　キャリアとワークルール』三恵社　2020年　1650円(税別)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ、キャリアデザインⅣ、インターンシップ
資格関連性: ビジネス実務士、上級秘書士(メディカル秘書)

学修上の助言	受講生とのルール
事前にラインマーカーなどを用意しておいて、授業中に指摘する重要語句をマーカー(短く)しながら、授業を聴くと学習効果が高いと思うので、お勧めする。	・6回以上の欠席で自動的に失格。 ・授業中無駄話をする人は、注意、警告、退場の順で対応します。退場になると失格又は評価点は最低点とします。 ・携帯電話は机の上に出しておかないこと。 ・遅刻は原則として認められない。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓			①キャリア形成について、教科書記載事項と講義内容についての重要事項についての理解を試す問題を出題し、評価する。 ②社会人基礎力に関連する講義内容についての重要事項についての理解を試す問題を出題し、評価する。 ③ワークルール（労働法の基礎的事項）についての重要事項についての理解を試す問題を出題し、評価する。
				②	✓			
				③	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	20	①	✓			授業の理解度を測る意味も込めて、「授業の復習・感想」に関するレポート（400字～600字程度）を、自分の考えを理解してもらえることを意識して、自らの言葉で作成する。授業期間内に2回実施する。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）指示がなくても自ら予復習（事前・事後学習）を行うことができる。 （実行力）レポート提出などで目標に向かって進むことができる。 （課題発見力）情報を客観化していくことができる。 （創造力）新しい発想の下、課題に取り組むことができる。 （発信力）文章作成時などにおいて整理した内容を的確に表現できる。 （傾聴力）大事な箇所は教科書の空白部等に書き込み、確りと聞くことができる。 （規律性）・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如を来す行動をせず、ルールを守ることができる。・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①キャリアを客観的にデザインできる知識とルールが理解できている。 ②社会人基礎力の概要と社会の動向を理解して目的意識が持てるようになっている。 ③キャリア形成に際して必要な労働法の基礎的事項が理解できている。 S（秀）=①＋②＋③＋アルファ　A（優）=①＋②＋③	①キャリアを客観的にデザインできる知識とルールを不十分ながらも一通り知っている。 ②社会人基礎力の概要と社会の動向を一通り知っており目的意識も不十分ながら有している。 ③キャリア形成に際して必要な労働法の基礎的事項を不十分ながらも一通り知っている。 B（良）=①＋②＋③　C（可）=①＋②

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション、キャリアとワークルールについて学ぶ。	講義	各回の概要を説明。キャリアとは何か、ワークルールとは何かについて理解することができる。	事前にシラバスを読み、自分の将来について考えてみる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	キャリアについて学び、考える。	講義	働くこととは、仕事とは、これらについて考えていく。キャリア形成に役立つ働き方とは、豊かな生活が実現することの意義を理解することができる。	事前にテキスト13～21頁を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	働くことは人生を豊かにするということを学ぶ。	講義	稼得能力と自己実現のバランス、働き方の変遷、人間力、社会人基礎力について理解することができる。	事前にテキスト22～34頁を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
4	雇用の動向について学ぶ。	講義	雇用情勢、働き方改革、コロナ禍後の社会、そして優秀な社員の要件について理解することができる。	事前にテキスト35～44頁を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
5	会社やNPO法人で仕事をすることをについて学ぶ。	講義	会社などの組織や活動、人材育成の仕組みをイメージすることができる。	事前にテキスト45～59頁を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
6	働く世界としての各業界について学ぶ	講義	繊維、電機、製薬、小売、旅行、出版などの業界の概要と特長について理解することができる。	事前にテキスト60～72頁を読んでおくこと。事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
7	自己理解について学ぶ。	演習	自己分析シートなどを参考にして、自己分析を行う。多面的に自己の姿を確認する作業について理解することができる。また、次回の授業におけるフィードバック（又は総括講評）の際に、より理解を深めることができる。	事前の指示事項を確認しておくこと。 事後には配布レジメを再度読んでまとめておくこと。 また、フィードバック（又は総括講評）の内容を復習する。	90	主体性 実行力 発信力 規律性
8	自己の発展的スキルについて学ぶ。	演習	コミュニケーション及びストレス耐性の分析シートを参考にして、人間関係の構築力について理解することができる。また、次回の授業におけるフィードバック（又は総括講評）の際に、より理解を深めることができる。	事前の指示事項を確認しておくこと。 事後には配布レジメを再度読んでまとめておくこと。 また、フィードバック（又は総括講評）の内容を復習する。	90	主体性 実行力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	パラレルキャリアと副業・兼業について学ぶ。	講義	パラレルキャリアと副業・兼業について理解することができる。	事前にテキスト83～89頁を読んでおくこと。 事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
10	働くためのワークルール。労働契約と就業規則(ワークルール)について学ぶ。	講義	ワークルールと呼ばれている労働法の基礎を学ぶ。採用や職場の法律ルールなどについて理解することができる。	事前にテキスト91～99頁を読んでおくこと。 事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	働くためのワークルール。給与に関するルールについて学ぶ。	講義	ワークルールと呼ばれている労働法の基礎を学ぶ。給与やその支払いの関連事項などについて理解することができる。	事前にテキスト100～106頁を読んでおくこと。 事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12	働くためのワークルール。労働時間や職場の安全について学ぶ。	講義	ワークルールと呼ばれている労働法の基礎を学ぶ。労働時間、休日、年次有給休暇、職場の安について理解することができる。	事前にテキスト100～120頁を読んでおくこと。 事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13	ブラックアルバイトのトラブルに巻き込まれない方法を学ぶ。	講義	ブラック度チェックシートと適法な求人票からブラックバイトに就かない、脱する方法を学び、理解することができる。	事前にテキスト121～128頁を読んでおくこと。 事後には配布レジメを中心にまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性
14	元気になる講座について学ぶ。	講義	担当講師の実体験による智恵を抽出した語録から、元気になり前向きに考えることができる学びを、イメージすることができる。	事前の配布レジメを確認しておくこと。 事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
15	総括 問題解決スキルを通じて、人生リスク回避の方法を学ぶ。	講義	問題と課題の違いを知り、問題の発見及び解決方法について学び、リスクの回避について理解することができる。 今までの授業を振り返る。	事前にテキスト140～166頁を読んでおくこと。 事後には授業での説明事項をまとめておくこと。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力